

<参考>

川崎市多摩川プラン推進会議 委員名簿

(敬称略・順不同)

氏 名	役 職 等
進士 五十八 (しんじ いそや)	東京農業大学名誉教授 【学識経験者】
山道 省三 (やまみち しょうぞう)	NPO法人多摩川センター代表理事 【学識経験者】
齋藤 光正 (さいとう みつまさ)	NPO法人多摩川エコミュージアム代表理事 【関係団体の役職員】
寺尾 祐一 (てらお ゆういち)	NPO法人多摩川干潟ネットワーク副代表 【関係団体の役職員】
佐藤 信雄 (さとう のぶお)	味の素株式会社 【関係団体の役職員】
小野 貴之 (おの たかゆき)	富士通株式会社 【関係団体の役職員】
加藤 純一 (かとう じゅんいち)	市民（公募）
北島 富美子 (きたじま ふみこ)	市民（公募）
新井 紀元 (あらい のりもと)	市民（公募）
藤井 政人 (ふじい まさと) <船橋 昇治> (ふなばし しょうじ)	国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所長 【関係行政機関の職員】

※< >内氏名は前任の委員

これまでの取組について

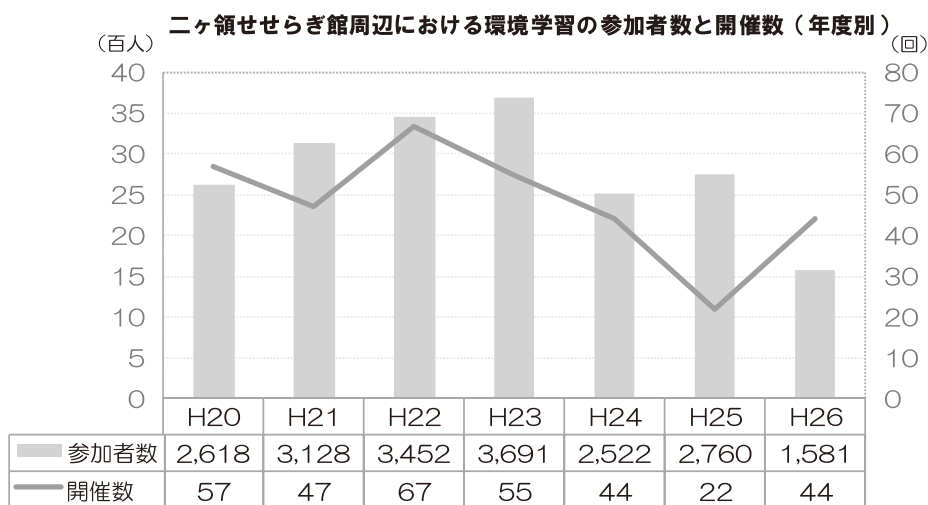
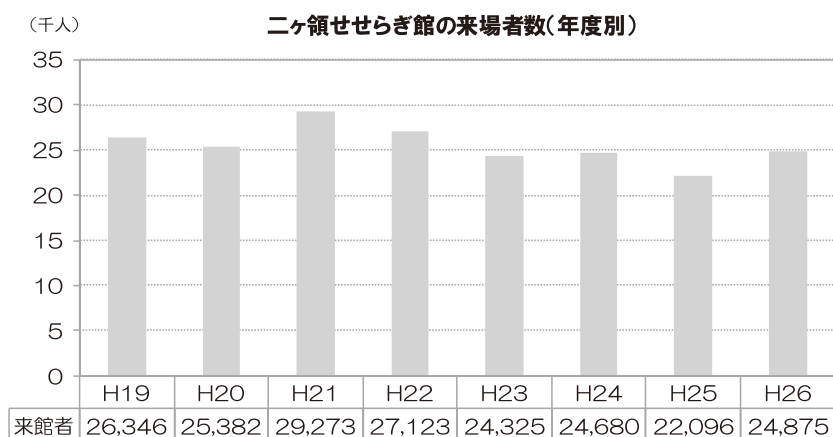
(1) 多摩川の拠点施設

多摩川の洪水時などの防災活動や自然環境・地域の歴史・文化などについて、情報発信・環境学習を行う市民活動と協働することを目的として、川崎市では、多摩川にある国土交通省が管理する施設である二ヶ領せせらぎ館、大師河原水防センターを市民グループで構成する運営委員会と川崎市が協働で管理運営しています。

① 二ヶ領せせらぎ館

二ヶ領せせらぎ館は、多摩区宿河原地区に位置し、国土交通省京浜河川事務所が管理する二ヶ領宿河原堰管理事務所の一部を利用し、川崎市と NPO 法人多摩川エコミュージアムが協働で管理運営する施設です。

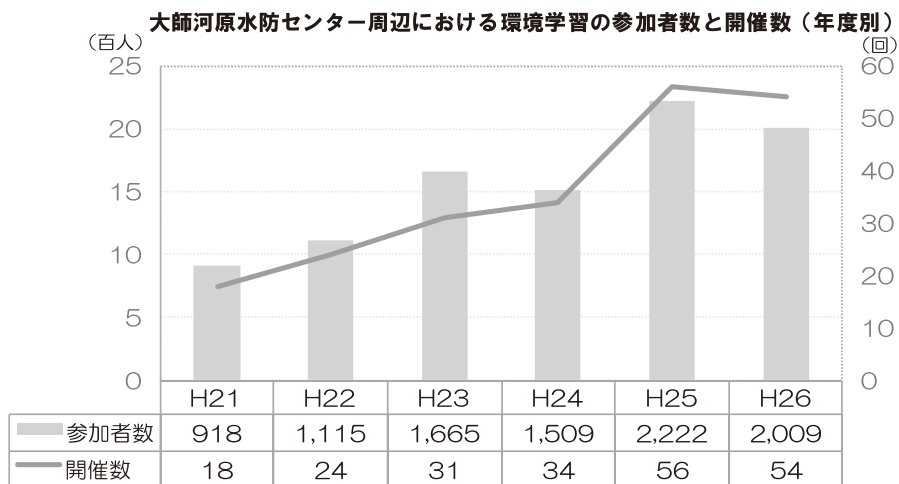
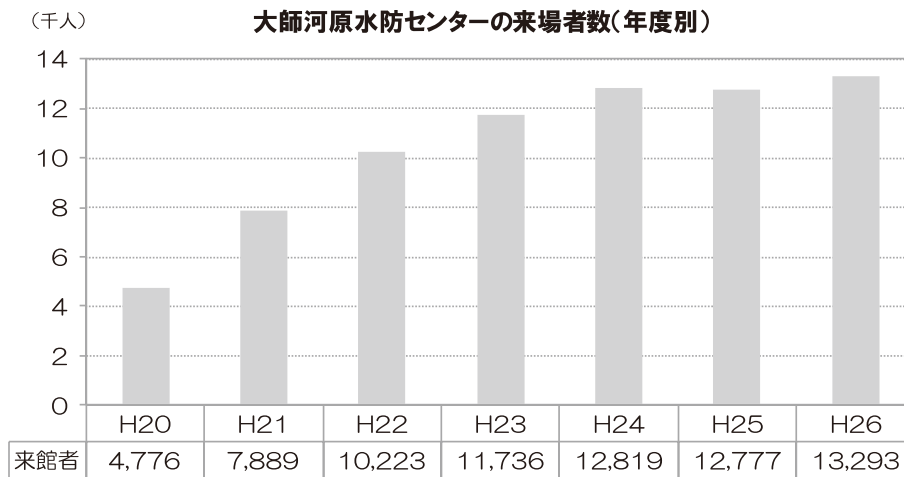
二ヶ領せせらぎ館の来館者数は平成 19 年度には 26,346 人の来館者が訪れており、平成 21 年度には 29,273 人と最も多くの方が訪れている。また、二ヶ領せせらぎ館周辺での環境学習の参加者数は平成 23 年度の 3,691 人と最も多くの方が参加している。なお、環境学習の開催は学校からの要望などにより開催している。



②大師河原水防センター

大師河原水防センターは、川崎市大師河原地区に位置し、国土交通省京浜河川事務所が管理する大師河原河川防災ステーションの一部を利用し、川崎市とNPO法人多摩川干潟ネットワークが協働で管理運営する施設です。

大師河原水防センターの来館者数は、平成20年度には4,776人の来館者が訪れており、平成26年度には13,293人と最も多くの方が訪れており、年度ごとに来館者数の増加傾向が見られる。また、大師河原水防センター周辺での環境学習の参加者数は平成25年度の2,222人と最も多くの方が参加している。なお、環境学習の開催は二ヶ領せせらぎ館周辺の環境学習と同様に学校からの要望などにより開催しており、開催数と参加者数はともに増加傾向が見られる。

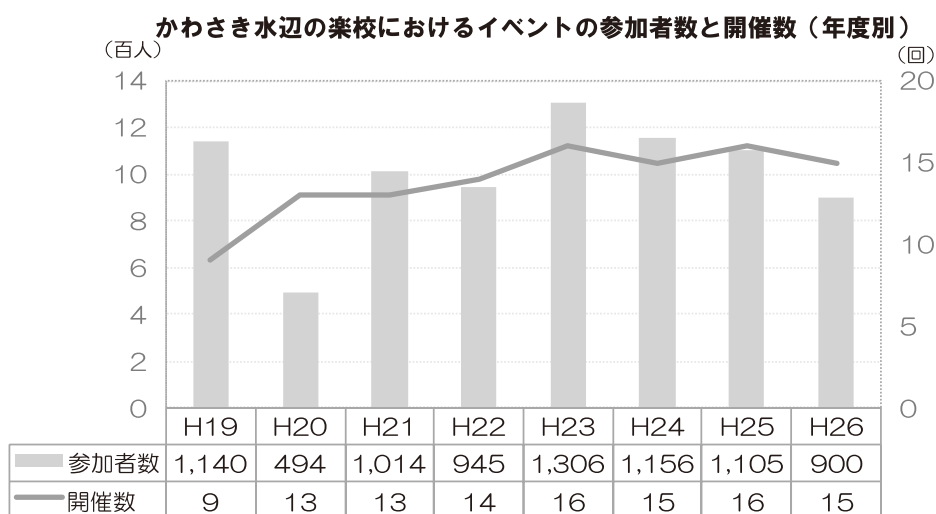


(2) 水辺の楽校

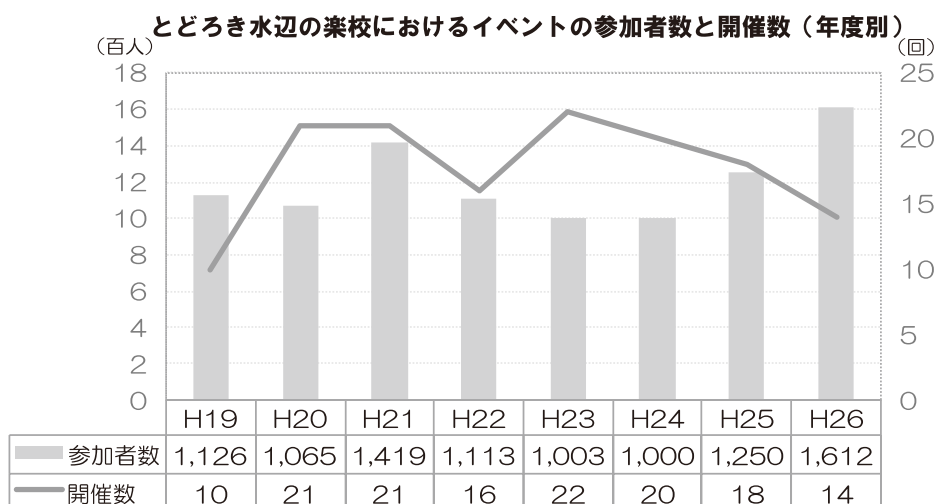
水辺の楽校とは、国土交通省が文部科学省、環境省と連携して進めているプロジェクトです。水辺をフィールドに、子どもたちが川に親しむ自然体験活動を推進しようというもので、実際の活動主体は市民ですが、安全で活動に適した水辺の整備など市や国も関わりながら事業を展開しています。

川崎市内では、「かわさき水辺の楽校」（多摩区）、「とどろき水辺の楽学」（中原区）、「だいし水辺の楽校」（川崎区）の3校が活動中で、それぞれ月1回程度のペースで、魚釣りや川に入っ
ての生物観察、源流体験などを行っています。

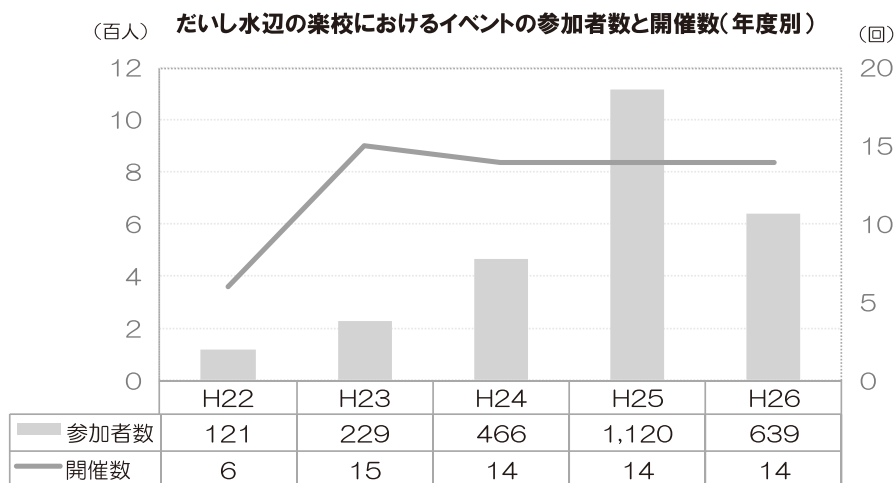
① かわさき水辺の楽校



① とどろき水辺の楽校



① だいし水辺の楽校

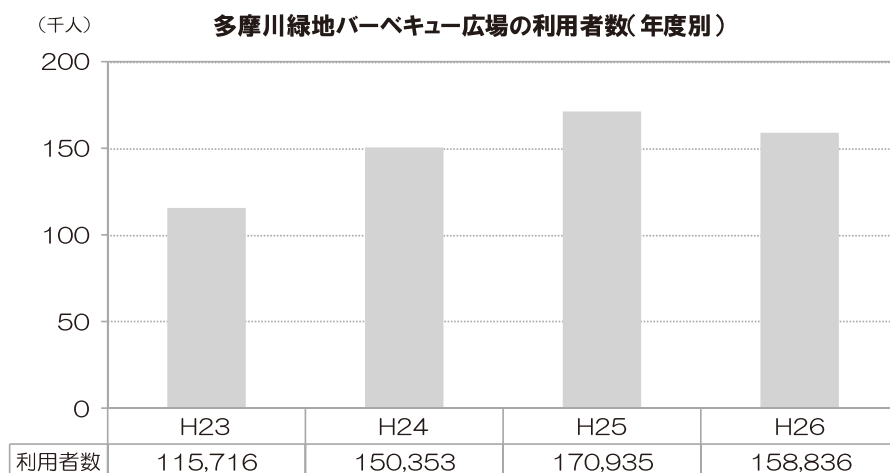


(3) 多摩川緑地バーベキュー広場

川崎市は高津区瀬田地区におけるバーベキュー、花火、騒音、及びゴミ問題を解決するために、地域の地元町会や河川管理者である国土交通省と協議し、川崎市が河川敷を包括的に占有し、社会実験を経て、平成23年4月より開設したバーベキュー広場は、平成24年4月から民間事業者（指定管理者）による管理運営を開始しております。

① バーベキューの利用者数

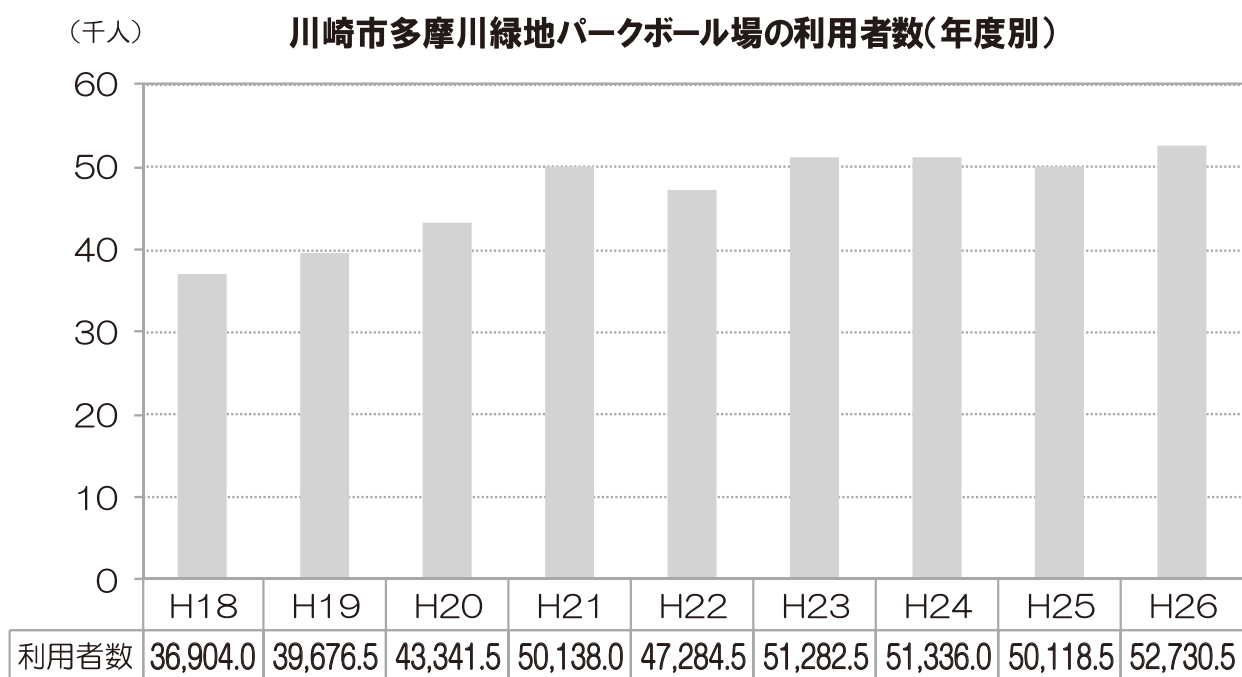
バーベキュー広場の利用者数は、平成23年度は115,716人、平成24年度は150,353人、平成25年度は170,935人と増加傾向を示していましたが、平成26年度に158,836人となり減少しています。



(4) 川崎市多摩川緑地パークボール場

川崎市多摩川緑地パークボール場は、生きがいとともに体を動かし、汗をかきながら、家族や友人同士でコミュニケーションを深めることができるとともに、他のさまざまなスポーツに親しむきっかけになるという、多くの市民からの要望により、高津区宇奈根地区に平成 13 年 6 月 1 日から開場しました。また、平成 18 年 4 月から民間事業者（指定管理者）による管理運営を開始しています。

川崎市多摩川緑地パークボール場の利用者数は、平成 18 年度は 36,904 人、平成 19 年度は 39,676.5 人、平成 20 年度は 43,341.5 人と増加傾向を示しており、平成 23 年度に 51,282.5 人と増加し、翌年度以降は約 5 万人以上の方が利用しており、横ばいとなっております。



※ハーフプレイの利用者は 0.5 としてカウント

(5) 多摩川の公園施設

多摩川は一級河川であることから国土交通省の所管地となっています。そのため、国が定める多摩川河川環境管理計画により、生態保持空間や広域施設レクリエーション空間などの8つの機能空間に区分けされており、川崎市はその方針に基づきながら、多摩川での公園の整備を推進しています。

多摩川緑地の公園状況(平成27年3月現在)

区名	公園種別	地区名	面積(㎡)
川崎区	運動公園	鈴木町地区	24,680
		大師河原地区	12,079
		殿町地区	5,914
		中瀬地区	29,740
		小計	72,413
幸区	運動公園	小向町地区	5,389
		小向仲野地区	20,587
		多摩川大橋地区	10,302
		古市場地区	95,542
		小計	131,820
中原区	運動公園	上平間地区	62,030
		上丸子山王町地区	6,473
		上丸子天神町地区	76,060
		下沼部地区	4,690
		等々力地区	22,449
		中丸子地区	25,516
		丸子橋地区	50,291
		宮内地区	20,227
		小計	267,736
高津区	運動公園	宇奈根地区	71,694
		北見方地区	19,745
		久地地区	8,662
		下野毛地区	28,161
		諏訪地区	37,538
		瀬田地区	73,112
		二子・久地地区	6,623
		二子地区	30,485
		小計	276,020
多摩区	運動公園	菅地区	24,945
		中野島地区	1,343
		小計	26,288
合計			774,277

川崎市新多摩川プラン

2016（平成 28）年 3 月

発行／
事務局／

川崎市

川崎市建設緑政局緑政部
多摩川施策推進課

〒210-8577

川崎市川崎区宮本町 1 番地

TEL : 044-200-2265 FAX : 044-200-3979

e-mail : 53tamasu@city.kawasaki.jp

川崎市 新多摩川プラン

平成28年3月

